

今後の進め方

【多様な主体の協働による事業の推進】

①官民連携推進会議の設置

・目指す街並みの具体化に向け、地元の商店街振興組合や町内会、沿道利用事業者・団体、警察、有識者、庁内関係部署などで構成する検討組織を立ち上げ協議を進めます。

②基本計画の策定

・官民連携推進会議での検討、社会実験の実施やシンポジウムの開催などを通じ、多様な市民の意見を幅広く伺い、理解を得ながら、基本計画を策定します。

③社会実験（歩道・車道活用）、店舗実験の実施・検証

・社会実験を繰り返し実施し、課題の把握と検証、課題解決に向けた関係者・関係機関との協議を行います。

④適用可能な国の支援事業・制度などの活用

・整備や活用の推進、財源の確保、管理運営団体の支援などのため、適用可能な国の支援事業や制度などの活用を検討します。

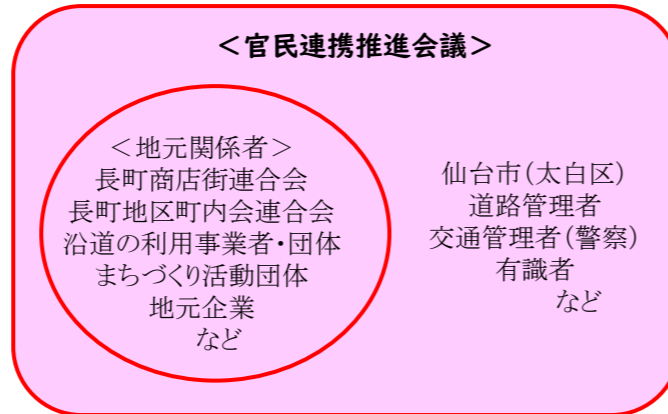
⑤地域主体の街並みづくりの促進

・地元の商店街振興組合や町内会等、地域が主体となった、本将来像(ビジョン)の具体化に向けた検討や活動を支援します。

⑥多様な主体との緩やかな連携

・本将来像(ビジョン)に賛同する多様な人々が、街並みにおける日常的な賑わいづくりや維持管理に向けて、それぞれのアイデアのもと主体的に活動し、交流し、緩やかにつながることで、本将来像(ビジョン)の具体化を進めていく仕組みづくりを検討します。

【体制図】



長町における賑わいと交流の街並み形成促進事業

長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン） 概要版

— 仙台市 太白区 —

街並みの将来像（ビジョン）に関する基本的な考え方

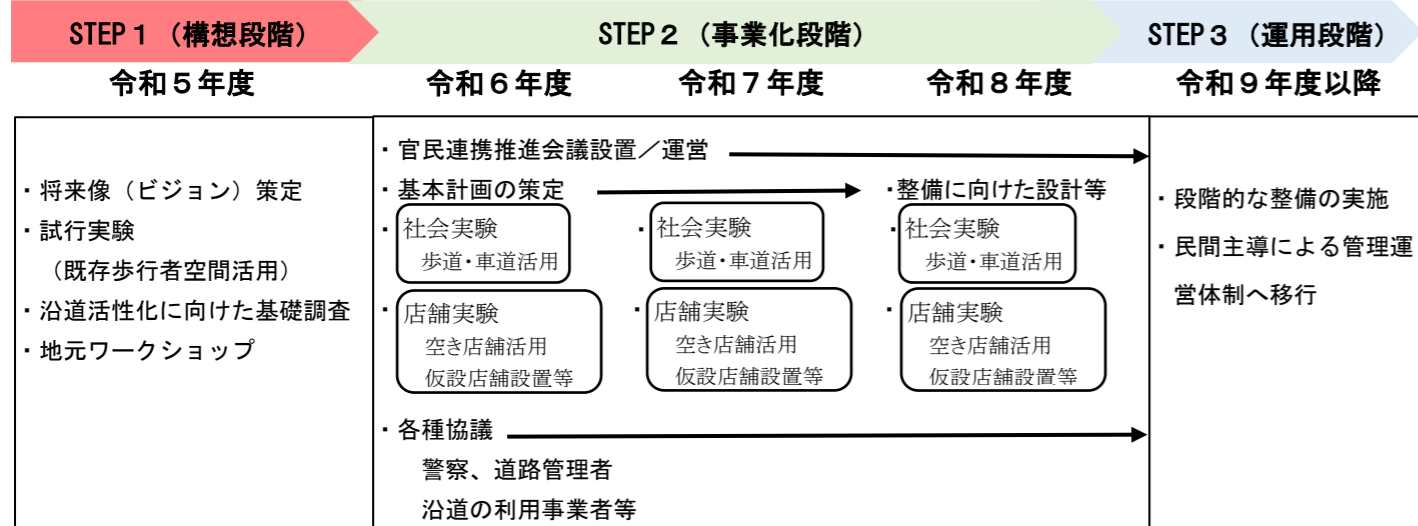
【策定の背景】

- ・長町地区は、「仙台市基本計画」及び「都市計画マスタープラン」のもと、本市南部の「広域拠点」として位置づけられ、長町商店街、あすと長町、長町南の3つのエリアの連携により、都市機能の集積を進めることとしています。中でも長町商店街エリアにおいては、「商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成」を図ることとしています。
- ・あすと長町エリアや長町南エリアでは、マンション等の建設が進み、人口が増加し、大型の商業施設や集客施設を中心に、賑わいを生み出している一方、長町商店街エリアでは、日常的に人を惹きつけ、近隣の2つのエリアの賑わいを十分に取り込むまでには至っておらず、旧国道4号沿道では、空き店舗や空き地、駐車場への転用等が散見される状況にあります。
- ・今後とも南部拠点長町の持続的な発展のためには、長町商店街エリアのさらなる活性化が重要となります。

【策定の目的】

- ・長町商店街エリアにおいて、エリアとしての魅力のさらなる向上、回遊性や滞在性の向上、賑わいの創出を図るため、旧国道4号沿道における人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりに地域とともに取り組んでいくにあたり、目指す街並みの姿とそれを実現していく上での検討すべき事項等を将来像(ビジョン)としてまとめ、地域の方々や関係機関・団体等と共有を図り、官民連携による街並みづくりに取り組むための指針とします。

【ロードマップ】



【本将来像（ビジョン）の具体化に向けて】

- ・歩いて楽しい街並みの形成に向けては、行政のみならず、市民、事業者、関係機関、有識者など、長町の街並みづくりに関わる多様な主体の参画のもと、本将来像(ビジョン)を共有し、その具体化に向けて協議し検討を重ねながら、協働で取り組みを進めていくことが重要です。
- ・また、実行可能なものから取り組んでいくとともに、街並みを巡る状況の変化等に応じて柔軟に対応していく必要があります。本将来像(ビジョン)の検討項目については、現段階で固定化や実施の決定をするものではなく、今後も協議や取り組みの進捗状況、街並みを巡る状況の変化等により、必要に応じて適宜改善や修正を加えながら具体化し、基本計画へと反映させていきます。

長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）は太白区ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.sendai.jp/taihaku-katsudo/nagamachi/nagamachi_times.html



仙台市太白区まちづくり推進部長町地域活性化推進室

〒982-8601 仙台市太白区長町三丁目1-15 電話：022-247-1111 (代表) mail: tai015100@city.sendai.jp

【将来像（ビジョン）の対象エリア（図赤色部分）】

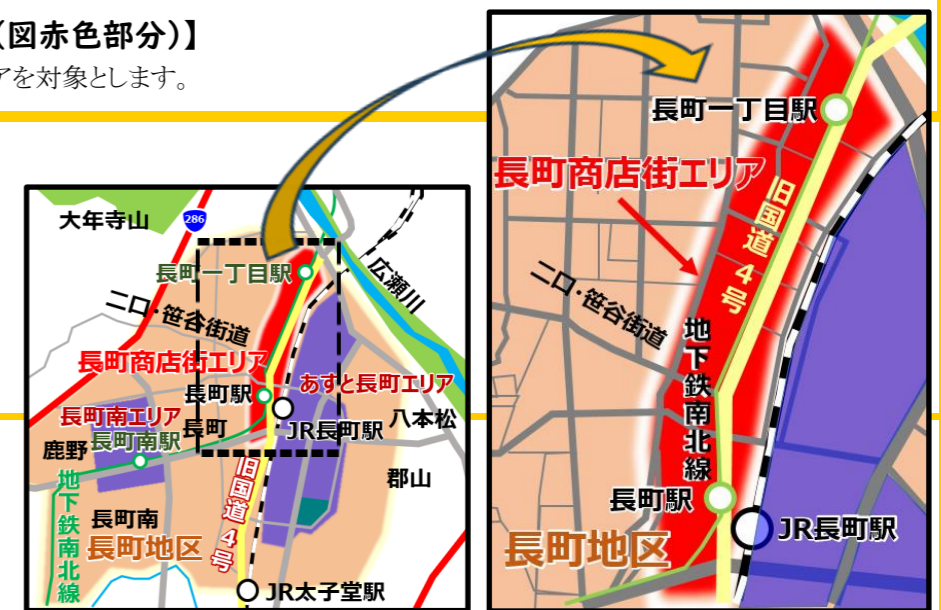
- ・旧国道4号沿道を中心とする長町商店街エリアを対象とします。

【対象エリアの強み】

- ・本市南部の中心地としての交通利便性
- ・潜在的な顧客や活動の担い手が住むあすと長町エリアに隣接
- ・個性豊かな地域資源と下町情緒
- ・地域住民をはじめとした市民の多様な活動

【対象エリアの課題】

- ・狭い歩行空間
- ・滞在性の低さ
- ・個店の減少による魅力の低下



【人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりを進める意義】

- ・「歩いて楽しい街並み」づくりによって、歩行者が歩きやすくなるほか、通りが賑やかになれば、地域が活性化します。街並みが整備されることで、安全性やまちの景観が向上し、まちのイメージが良くなり、まち全体の評価や価値の向上にもつながります。通りを舞台に新しいまちの魅力や活動が生まれます。まちに住み、まちで活動する人たちの愛着や誇りが強まるのが期待できます。
- ・長町商店街エリアにおいても、旧国道4号沿道の強みを生かし、課題を解決する方向で、多様な主体が活動し、賑わいを生み出す、魅力ある通りへと進化させるべく、「歩いて楽しい街並み」づくりを推進する必要があります。

【目指す姿】

目指す
まちの姿

新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ

目指す
通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

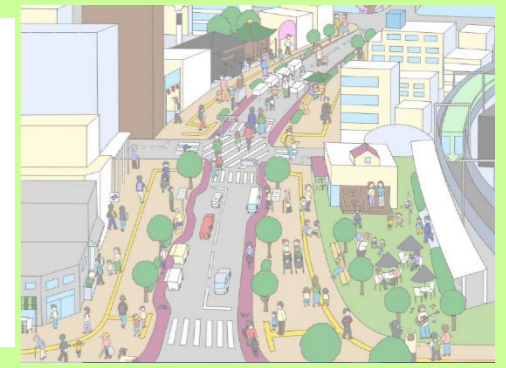
歴史ある「商(あきな)い」のまち・長町

まちの個性と新しい魅力や活動が、

歩きやすく快適な人中心の通りでつながり、

訪れる人にも住んでいる人にも魅力的な賑わいと交流の「あきな)い」まちへと、

皆のチカラで進化します。



【将来の街並みのイメージ】



安心して歩きやすい街並み

大人にも子どもにも、昼夜を問わず安全安心な通り。
思わず歩き出したくなる、人中心の誰にでもやさしく快適な空間をつくれます。



心地良い時間（とき）を過ごせる街並み

気軽にゆったりとくつろぎ、休んだり会話を楽しんだり思い思いに過ごせる通り。
ゆっくり滞在したくなる、居心地の良い憩いの空間をつくれます。



賑わいがあり心躍る街並み

一人でも楽しい、誰かと一緒ならもっと楽しい、いつも魅力と発見がある通り。
いつ訪れてもワクワクしながら街歩きが楽しめる、活気のある空間をつくれます。



個性的な触れ合いのある街並み

古くからの歴史と新しい文化・人が融和する、長町らしさを感じられる通り。
様々な人の関わり合いを通して、親しみと情緒を感じられる交流の空間をつくれます。



皆で一緒に魅力を育てる街並み

住んでよし訪れてよし、魅力的なメインストリートとして皆でつくる通り。
いつまでも愛され受け継がれる、様々な人が関わり魅力を高める協働の空間をつくれます。

【実現に向けた今後の検討の方向性】

・将来の街並みのイメージを踏まえ、目指す街並みの具体化に向け、地元の商店街組合や町内会、沿道利用事業者・団体、行政機関等との連携・協働により、役割分担を図りながら、以下の視点をもって、具体的な取組みを検討します。

道路空間の整備

- ・歩道拡幅のための車線減少など、安全安心で歩きやすい歩道空間創出の検討を進めます。
- ・自転車専用レーンや交差点の改良など、歩行者、自転車、自動車の動線分離の検討を進めます。
- ・誰もが安心して通行できるよう、歩道空間のバリアフリー化の検討を進めます。

滞在性の向上

- ・歩道へのベンチやテーブル、植栽の設置など、くつろぎの空間創出について検討を進めます。
- ・パークレットの手法を活用した一部歩道のテラス化など、滞在空間創出について検討を進めます。
- ・長町駅西口広場の一部芝生化など、既存施設の滞在性向上について検討を進めます。

賑わいの演出

- ・イベント時の歩行者天国化など、道路空間活用の検討を進めます。
- ・出店希望者に対する地元開業に繋げる支援の仕組みづくりについて検討を進めます。
- ・歩道空間やパークレット、空き店舗・空き地において、仮設店舗の設置やキッチンカーの活用などによる賑わいの創出について検討を進めます。
- ・シェアリングモビリティの活用など、回遊性向上について検討を進めます。
- ・サインの設置やマップの活用など、街歩きを楽しめる仕組みづくりの検討を進めます。
- ・長町駅西口広場などの公共空間でのイベント活用などについて検討を進めます。
- ・アートや音楽を取り入れるなど、多様な賑わい演出について検討を進めます。

個性に富む交流空間の創出

- ・横丁、神社仏閣、祭りなどの既存資源の活用や、シンボルとなるような名物や長町らしさの創出について検討を進めます。
- ・まちの人々と触れ合える案内所の設置や、顔が見える会話を楽しめるお店の取組みなどについて検討を進めます。

持続的な活動

- ・来訪者、街並みのファン、ボランティア等を増やす戦略的広報の検討を進めます。
- ・まちづくり活動関係者の集いの場の活用などにより、沿道で活動する様々な主体のネットワーク化について検討を進めます。
- ・エリアマネジメントなど民間主導による管理運営体制の構築などについて検討を進めます。
- ・通りの通称やロゴの公募、恒例イベントの実施など、街並みのブランド化に向けた取組みの検討を進めます。

【実現に向け解決すべき課題】

・道路活用に係る社会実験やその検証を繰り返し行いながら、沿道の店舗主・地権者・住民、道路管理者、交通管理者、交通事業者等と協議を行い、理解と協力を得られるよう進めます。

道路空間の整備に関する課題

交通渋滞の抑制／バス停・タクシー乗降所や運送車両荷捌きスペースの確保／緊急車両の円滑な運行など

魅力ある沿道の活用に関する課題

店舗誘致や新規開業支援等の仕組みづくり／多様なプレーヤーの参加・連携など

官民連携による推進体制の確立、民間主導による街並みの維持管理等に関する課題

エリアマネジメント等による民間主導の体制の確立と運営など